

# 高千穂峡ボート値上げ



貸しボートが浮かび、観光客でにぎわう高千穂峡（2019年5月1日撮影）

高千穂町観光協会（飯玉淳志会長）は3月1日から、運営する高千穂峡の貸しボートの料金を現行の1隻30分2000円を4000円に、また、高千穂神社での高千穂神楽拝観料も現行1人700円を1000円に改定する。同協会は、値上げ分を観光客の安全対策や神樂の持続的伝承に向けた支援などに充てる予定。「未来永劫（えいごう）、100年先も住民が暮らせる観光地づくりを目指すため」と説明している。14日、「未来に向けた観光地域づくり活動計画」として発表した。

## 観光神楽拝観料も千円に

貸しボートは1隻の定員は、1隻1人が4000円人が乗船した場合600円。同乗の大人1人が100円となる。0歳から未就学児までの子どもは1人500円の追加料金となる。

高千穂神社で毎晩、披露している「高千穂神樂」の拝観料は1人1000円、団体20人以上1人6

## 3月1日から 1隻 現行2千円から4千円 大人3人乗ると6千円 1/5 増収分 安全対策、後継者育成など

高千穂町観光協会

ている。

これまで繁忙期の貸しボートは予約開始からわずか1時間で予約受け付けが終了、長い時間待たれることなく、乗車場にとどまつたり、路上で

見込まれる増収分について、具体的には、「高千穂峡の崖壁や樹木などの保守点検・補修などの設備管理、貸しボートや救命胴衣などの設備更新など安全対策強化、外国人観光客も含めた緊急時の避難誘導などの環境整備、神樂継承のため2017年に設立された「高千穂の夜神楽伝承協議会」と連携して後継者育成などに使いたいとした」

に踏み切ったのは、向こ

0円が、900円（小学生までは無料となる。

見込まれる増収分について、具体的には、「高千穂

峡の崖壁や樹木などの保守点検・補修などの設備管理、貸しボートや救命胴衣などの設備更新など安全対策強化、外国人観光客も含めた緊急時の避難誘導などの環境整備、神樂継承のため2017年に設立された「高千穂の夜神楽伝承協議会」と連携して後継者育成などに使いたいとした」という。

この状態に今、手をつけ

て未来に向けた観光地域づくりをスタートさせないといけない」と話した。

ボートの事前予約システムを導入し一部を宿泊者優先枠として観光客の満足度、利便性の向上を図る」という。

ただし、予約システムの運用開始時期は未定。

同協会は、値上げ

2020.1.15

露している「高千穂神樂」の拝観料は1人1000円、団体20人以上1人6

ボートの事前予約システムを導入し一部を宿泊者優先枠として観光客の満足度、利便性の向上を図る」という。

ただし、予約システムの運用開始時期は未定。

この状態に今、手をつけ

2020.1.15